

令和6年度 学校教育自己診断（考察）

【回収率】

教職員：100% 保護者：79%（前年比3ポイント増）

【各設問項目】

1. 保護者

全31項目（昨年度は33項目、支援計画・指導計画についての設問を統合し整理）の設問に対し全項目について肯定的評価90%以上の回答をいただいています。数年課題としてあげておりました学校HPでの情報発信「22 学校ホームページ」については昨年度と比較して2ポイント上昇しています。他の項目との比較で評価が低かった項目ですが、今回肯定的評価90%台の評価をいただきました。引き続き学校HPの充実やその他ICT活用による情報発信に努めてまいります。全体として、過去2年分の評価も合わせて高い肯定的評価をいただいております。本校の教育について、これまでの取り組みをご理解いただいているものと考えています。今後も更なる教育内容の充実に向けて取り組んでまいります。

記述回答については、防災の観点から、施設の老朽化や津波被害を想定した場合の立地に対する不安の声を複数頂戴しています。今後も防災への取り組みを充実させるとともに、施設の改修等に関してはPTAとも協力し府への要望を継続してまいります。

2. 教職員

肯定率90%以上の評価項目は全31項目中（昨年度は32項目、教育課程についての設問を統合し整理）15項目で、前年度より6項目減少しています。また、肯定率90%以上の評価項目も含めて、前年度よりポイント下降した項目が20項目にのぼる結果となっています。特に下降の幅が大きかったものとして「5働き方改革（15ポイント下降）」があげられます。前年度10ポイント以上上昇した項目でしたが、働き方改革の必要性の共有、業務改善の効果やICTによる効率化、といったものの効果が実感されていないことにより評価が下降したものと考えています。また「9学習計画等の教員間の話し合い」の項目についても9ポイント下降（肯定率72%）と下降の幅も大きく、近年3年の中で最も低い肯定率となっています。前述の「5働き方改革」の評価の下降とも併せて、教職員の多忙感の改善が思うように進んでいないことがうかがえる結果となっています。

記述回答については、分掌や教員個人への業務の偏り、異動や校内人員配置変更に伴う業務の引継ぎへの課題が複数あがっています。また各学部、各分掌への人員配置、欠員の補充についてなど、校内人事への課題が引き続き指摘されています。くわえて、設問項目の結果について記述した部分でもふれた「働き方改革」について、簡略化・効率化すべき重点項目、取り組みの意義の共有など、そのあり方について課題が指摘されています。

引き続き日々の教育活動において児童生徒が安心安全に学習活動に取り組めるよう、また教員自身も十分に力を発揮できるよう学校として環境整備に努めたいと考えています。

ご意見欄（要約）

【保護者】

- ・校舎、設備の老朽化への対応について
- ・災害時の対応について
- ・交流教育の必要性、PTA 活動の任意性について
- ・校区制度について

など

【教職員】

- ・学年、分掌等の人員配置につて
- ・各分掌、各教員の業務偏重、業務の引継ぎの改善について
- ・人材育成につて
- ・学部間、学部内における連携について

など